



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成26年6月30日

佐治理事を新副理事長に選任

第47回通常総会・第2回理事会

平成26年度の事業計画や任期満了に伴う役員改選の件などを審議する第47回通常総会が5月29日(木)、ホテル青森で開かれた。

同総会には、組合員116名(本人出席67名、委任状出席49名)が出席した。

総会では、西理事長が議長に選任され、平成26年度事業計画や収支予算案等が原案どおり承認された。

任期満了に伴う役員改選では、理事に江渡商事(株)の江渡社長、(株)青森新生活互助会の石田会長、三協運輸(株)の木村社長、(協)青森総合卸センターの赤坂事務局長を新たに選任。監事には(株)伸和産業の大田社長が新任された。

また、同日には新三役を選任する第2回理事会が開かれ、西理事長、柳谷副理事長、藤本専務理事が再任、(株)プリモの佐治社長が副理事長に新たに選任された。



第47回通常総会

- 総会終了後には懇親会が開催され、来賓を代表して、佐々木青森県副知事、鹿内青森市長(佐々木経済部長代読)、宮下日本銀行青森支店長から祝辞が寄せられた。
- 続いて、新規加入組合員の青果流通機構(株)、丸井産業(株)の紹介が行われ、青森商工会議所の若井会頭の乾杯で祝宴に入った。
- 【新役員・敬称省略】
- ▽理事 西秀記(株)西衡器製作所)
- ▽副理事長 柳谷章二(株)問屋町カーサービス・佐治隆雄(株)プリモ ※昇任)
- ▽専務理事 藤本和夫(協)青森総合卸センター)
- ▽理事 雪田清紀(株)東晴)・齊藤嘉博(株)金丸齋藤紙店)・工藤正博(株)KGアンサンブル)・多田剛弘(有)山多多田商店)・佐々木聡(青森三菱自動車販売(株)・江渡文隆(江渡商事(株) ※新任)・石田憲久(株)青森新生活互助会 ※新任)・木村英敬(三協運輸(株) ※新任)・赤坂晃(協)青森総合卸センター ※新任)
- ▽監事 服部國彦(大青工業(株)・太田雄三(株)伸和産業(株) ※新任)
- 【新規組合員紹介】
- ▽青果流通機構(株)
- ▽丸井産業(株)

パソコンリサイクル回収本稼働へ

組合では、平成25年12月よりパソコンリサイクル回収実務を開始。同実務は、(有)アクトインティブワークスと連携し、パソコンリサイクル費用の低減、資源リサイクルの推進、障がい者雇用創出への支援を目的に実施。5月までの6カ月間で700台を超えるパソコンやサーバー、プリンターをリサイクル回収した。

利用者ニーズも高く、環境保全や社会貢献にもつながることから、6月より正式に組合事業としてスタートすることとなった。本稼働にあたり、実験事業の結果を踏まえ、次のとおり一部回収方法を変更した。

- 1つ目は回収区分の変更。デスクトップパソコン一式を廃止し、デスクトップパソコン(本体)とモニターを分けて取り扱う。また、プリンターは様々な種類やサイズがあるため、付属品扱いとして回収することとなり、買取金は発生しない。
- 2つ目は、パソコン内部の状態による買取金額の変更で、ハードディスク未搭載や内部部品が大幅に欠品している場合は、買取金額が半額となる。

また、申込用紙も一部変更し、買取金の障がい者施設(うとうの園)への寄付を希望するチェック欄を設け、更なる障がい者支援を行う。消費税増税前の駆け込み需要や、ウインドウズXPのサポート終了による買い替えも



パソコンリサイクル回収

平成26年度
受講生募集中! 

地域中小企業の人づくりをめざして
問屋町ビジネススクール

今年で創立35周年を迎える
同友会第35回定時総会

青森問屋町経営同友会の第35回定時総会が5月16日(金)に青森市新町の「ダイニング椿」で開催された。同会会員17名が出席して開催された総会では、提出議案全てが原案どおり承認された。柿崎会長は「昨年末、世相を表す漢字に「輪」が選ばれた。同友会でも会員企業ならびに問屋町全体の発展のため、今まで以上に「絆」を強く、人の「輪」を大切にできるような実り多き活動を展開していきたい。皆様方の一層の



同友会 定時総会

今年度の役員を選任

青友会第7回定時総会

問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の第7回定時総会が5月20日(火)にホテル青森で開催され、同会会員26名が出席した。

総会では、前田会長が議長に選出され、審議の結果、全て原案どおり承認された。任期満了に伴う役員改選では、欠員となっていた副会長に瀧澤幹事が昇任。新幹事として3名が役員に加わった(新役員は後記)。

また、総会に先立ち、ビジネススクール専任講師でもある流通コンサルタントの平山良雄氏を講師に招き、「青森を売る」をテーマに特別講演会を開催した。

ご協力をお願いする」と新年度に向けた抱負を述べた。

総会終了後には、新規加入の青果流通機構(株)の長内社長の自己紹介も行われ、新会員とともに去年以上に活発な活動を行っていく。



同友会 定時総会

青森県の中小企業経営
支援施策について学ぶ
青森県流通団地連絡協議会

青森県内5卸団地で組織される青森県流通団地連絡協議会では、5月21日(水)に、第2回団地組合職員研修会を開催した。

青森市内のレストラン「ダイニング椿」で開催された同研修会には、県内各地の卸団地に加え、組合指導機関である青森県商工労働部、青森市経済部、青森県中小企業団体中央会から合わせて24名が出席した。

研修の講師は青森県地域産業課小泉主幹が務め、青森県の中小企業経営支援施策の1



総会後に行われた懇親会

△幹事 吹越登(ブライフーズ(株)所長)・齋藤貴志(東北リースキン(株)支店長)・小室隆信(栂渡辺採種場店長 新任)・坪谷亮治(東日運送(株)所長 新任)・桜田健治(イシグロ(株)所長 新任)

今年度は時間を延長して開催

第1回献血

今年度1回目の献血が5月26日(月)に問屋町会館前で

行われ、組合員従業員ら40名が協力した。組合ではこれまで労務対策事業の一環として献血推進運動を実施してきており、年3回、問屋町会館前に移動献血バスによる献血を行っている。昨年度までは午前9時30分から午後1時までの開催であったが、今年度は実験的に午後4時30分まで時間を延長。延長して初めての開催となった今回は、前年同期と比較して協力者が8名増加し



第1回献血



団地組合職員研修会

つとして取組んでいる「ビジネスサポートステーション事業」について学んだ。

この事業では主に「販路アドバイザー」「ビジネスマッチング」「ビジネスサポート販路開拓補助金」の3つの施策で県内中小企業の販路開拓を支援している。

販路アドバイザーによる支援では、担当分野別に販路アドバイザーを配置し、商品の掘り起こしやブラッシュアップを通じて新たな販路開拓の支援をする。ビジネスマッチングによる支援では、県内中小企業者と首都圏企業との個別商談会の機会を提供。また、販路開拓補助金は、首都圏等で販路を開拓する中小企業者

に対し、経費の1/2を補助するものとなっている。当事業の詳細や相談等については、担当窓口となっている公益財団法人21あおもり産業総合支援センター総合支援室(☎017177714066)まで。

企業の本質(CSR)が高まっている現在、献血は身近でできる社会貢献活動である。組合では、今後も献血サポーターとして、献血への協力を積極的に呼びかけて、協力者増加に努める。

靴・履物・手袋・作業服・衛生用品・合羽
おかげさまで65周年
和田ゴム販売(株)
TEL:017-738-4395
Fax:017-738-7859

海産乾物問屋
昆布を食べよう
株式会社 **丸毛最上商店**
青森市問屋町二丁目14番22号
TEL 017-738-5891
FAX 017-738-5895
http://www.4ocn.ne.jp/~mogami/

ビジネスブックカフェ通信

今月紹介するのは、堀井和子著『北東北のシンブルをあつめにいく』(講談社) ¥860(税抜)。

東京生まれでNYでも暮らしたスタイリストを紹介する岩手・秋田を中心とする北東北の魅力あふれる食べ物や作品の数々。北東北に住む私たちにとっては、旬の山菜も南部鉄瓶や浄法寺塗などの工芸品も取り立てて珍しいものではない。

経済雑感

第五十八回 日本営業ツール研究所 代表 吉見 範一

前号に引き続き、日本営業ツール研究所の代表であり、問屋町ビジネススクールの講師も務める吉見氏による経済雑感をお送りする。

青森総合卸センターのビジネススクールの講座内容を重視していることがわかります。モノが売れないと言われている時代だからこそ、奇をてらったテクニクよりも、やはり基本を踏まえてビジネスに取り組んだ方が成果を出しやすい。

たり前と感じているものが多いかもしれないことを痛感します。

一度、視点をリセットして新たな気持ちで色々なモノを見ると、今まで気がつかなかった魅力を見えてくるかもしれませんね。(聖幸・評)

業務報告

主要事項

- 5月 2日 大星神社祈年祭・観桜会 7日 ㈱ユアテック問屋町地区 沿道清掃 8日 第2回合同清掃 12日 青森中金会運営幹事会 13日 青森市高度化事業団体

- 連絡協議会幹事会 青森市勤労者互助会運営委員会 青森社会保険委員会定時総会 青森市産業振興財団理事會 16日 プラザあおもり88総会 19日 問屋町経営同友会第35回定時総会 20日 安協問屋町支部第1回役員会 21日 青森県流通団地連絡協議会第2回団地組合職員研修会 26日 第1回献血 27日 青森市ごみ問題対策市民会議 29日 第47回通常総会 30日 青森卸センター(株)第45回通常総会 11日 中堅社員研修(フォロアップ) 13日 学ぶ会会計・経理導入編(1日目) 15日 学ぶ会会計・経理導入編(2日目) 26日 学ぶ会会計・経理(1日目) 28日 学ぶ会会計・経理(2日目)



日本営業ツール研究所 代表 吉見 範一氏

学んでいる企業は何を基準に値段を決めるのがベストなのかよくわかっていません。よくあるのが「原価や仕入れ値に何%を乗せて価格を決める」と考える決め方ですが、現実はお客様はその商品やサービスはどのくらいの価値を感じているかによって決まります。

決める前に「いくらなら買いますか?」と聞いてみることをおすすめしています。こうしたビジネスの入門編とも言えるような基本的なことを知らずに経営している中小企業がとて多いいんです。その結果、値段を下げたのに売れないとか、価格競争が激しくて売れないとか、HPから来る

問合せは相見積もりばかりで成約に結びつかないなど、いずれもビジネスの基本を忘れて自社の価値を伝える努力をせず、しかも自社が不利な市場でビジネスを展開しているケースばかり耳にします。中小企業にとって最も大切なことは基本を知ること。そして自社の価値を活かした市場を創りだすことなんです。

とは言えゼロから考えるのは難しいので、青森総合卸センターのビジネススクールのようなセミナーを上手に活用するのもひとつの方法です。今すぐできることから実践していきましょう。

(完)

一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬 三協運輸株式会社 三協クリーンサービス株式会社 〒038-0023 青森市大字細越字栄山590-12 TEL 017-739-6426 FAX 017-739-1612

車の整備はまかせて安心 (株)問屋町カーサービス レンタカーも取り扱っております 〒030-0131 青森市問屋町一丁目13-20 電話(017)738-4505 FAX(017)738-4556

おいしいお菓子づくりのお手伝い お菓子とパンの原料専門店 (株)元木商店 本社 青森市第二問屋町三丁目2番12号 TEL 739-9061 弘前店 弘前市大字神田一丁目5の6 TEL 36-4741 八戸店 八戸市類家五丁目2の14 TEL 45-2755

農林業・汎用機械 卸/販売/サービス 株式会社 ガスデン ホンダ ヤマハ ゼノア オーレック その他 除雪機 発電機 草刈機 耕うん機 など 家庭、事務所に、小型でちょっといいモノを 青森市第二問屋町4丁目2-26 TEL: 017-739-7422 E-MAIL: gasuden@k4.dion.ne.jp FAX: 017-739-8186

今年度の労務対策事業が決まる

労務対策委員会が企画した平成26年度の労務対策事業が、6月23日(月)に開かれた3回理事会にて承認された。

また、今年度からは、青森問屋町経営同友会で開催してきたハイキングやカーリング教室、体力測定など、組合員従業員も数多く参加する企画を組合主催事業とすることとした。なお、企画の運営はこれまで同様同友会が担当する。決定した今年度の開催事業の予定は次のとおり。

- ①第22回問屋町納涼パーティー
日時 平成26年7月18日(金) 19時~21時



昨年の納涼パーティー

- ②第4回婚活パーティー
日時 9月19日(金) 19時30分~22時
場所 ケンケンピアファクトリー
③フルーツハイキング★
日時 9月28日(日) 10時~13時
場所 青森観光りんご園

- ④カーリング教室★
日時 10月6日(金) 19時~21時
場所 みちぎんどリームスタジアム
⑤白神山ハイキング★
日時 10月中旬
場所 白神山
⑥第5回問屋町ハロウィンパーティー
日時 10月24日(金) 19時~21時
場所 市内ホテル

- ⑦第37回ボウリング大会
日時 11月21日(金) 19時~21時
場所 イーストボウル
⑧新年合同厄払い
日時 平成27年2月4日(水) 12時15分~13時



昨年のフルーツハイキング

新副理事長に聞く!



株式会社プリモ 代表取締役 佐治 隆雄 氏

今回から、先の総会で選任された新役員4名を順に紹介していく。1人目は、副理事長に就任した株式会社プリモの佐治社長にお話を伺った。

同社は食器・厨房機器の卸会社として昭和48年に創業。当時若干24歳の佐治氏が起業し、40周年を迎えた現在では、美しさ・感性・遊び心・創造性の「美・感・遊・創」を基盤

に、店舗・厨房・食器のトータルプランニングを手掛け、地域の食文化の発展に貢献している。また、第二問屋町が完成してまもない昭和60年に本社を移転し、組合に加入。同氏は平成16年から組合の役員を務め、この度、副理事長に就任した。

「当社は、ダックという外食産業器材の輸入商社を関連会社としており、エンドユーザーと繋がるプリモとメーカーポジションのダックの複合体として成り立っている。ダックは東京に本社があり、全国の様々な情報が入ってくる。これを両社で共有することで、業界での差別化を図っている」と自社について語った。業界について何うと、「かつては取引先に飲食店やホテルが多

かったが、最近では病院や老健施設等が増え、青森はいかに少子高齢化が進んでいるかを実感している。一方で、福島店は復興需要で飲食関係の取引が増えてきている。経済は人がいないと成り立たないということを感じた」と話した。

副理事長に就任しての抱負について何うと、「問屋町のみならず、青森の次世代のリーダーとして地域発展に邁進する西理事長を微力ながらサポートしていきたい」と思っている。組合運営や地域活性化に対する自分の想いはたくさんあるので、それはいくつかも組合運営に活かしていきたい。仕事柄、東京や海外への出張が多いので、そこで得られた情報を反映させられたら良

いと思う」と意気込みを語った。世界中を飛び回るハードな生活を長年続け、今なお体力の衰えることのない同氏に健康の秘訣について何うと、「早朝ウォーキングが健康の秘訣。青森と東京どちらにいても、1時間程歩いている。青森なら自宅周辺、東京なら皇居北の丸公園近辺。出張先では毎日外食なので特に気を付けている」と笑った。

座右の銘は「継続は力なり」。「自分の生き方そのものがどんなことでも続けることが大事。ただし、情性で続けるのではなく上昇し続けていくことが肝心」と語った。(64歳)

編集後記

これまで空席でした副理事長に佐治理事が選出されました。氏は上欄の「新副理事長に聞く」の「お祈り青森・東京・海外」と東奔西走されている方です。また氏は青森には珍しいアントレプレナー(起業家)として全国版の書籍にも紹介されたことがあります。その広い知見と実行力を今後は組合のために発揮されるのが期待されます。▼転話題。今回は、今年度の事業計画に「問屋町ブランド戦略」という方針が示されましたが、この「問屋町」と「ブランド戦略」という若干違和感のある組合せについて説明します。▼まずは、ブランド戦略について。ブランド戦略はブランディング Branding とは「企業価値を向上させることを目的に有形・無形に關係なく目に見えない企業資産を創造すること」そこで「人々の心に宿るプラス・イメージがブランド力」です。▼また企業価値とは「金銭には換算されない模倣不可能な見えない価値のこと」で「企業の差別化要素となる長期的に成功するために欠かせない重要なブランド資産のこと」です。▼ブランド資産の例です①ブランド・ロイヤルティ「やっぱりビールはアサヒに限る」②ブランド認知「あ、資生堂の新しい化粧品が出てる」③知覚品質「ナイキのスポーツシューズならまず間違いないだろう」④ブランド連想「ジャガー」高級車」などです。▼「問屋町ブランド戦略」については次号でお伝えします(藤本)

Vegetable and fruit distribution system

青果流通機構株式会社

〒030-0131 青森市問屋町1丁目9-23
TEL 017-763-5115
FAX 017-763-5116

涼しく快適な窓辺をお届けします!

簡単リフォーム
スマートカバー工法
リフォーム勝手口ドア
長内サッシ工業株式会社
青森市問屋町2丁目12-35
TEL 017-(728)-1311

